



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社一蔵 上場取引所 東
 コード番号 6186 URL <https://www.ichikura.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河端 義彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務経理本部長 (氏名) 数見 康浩 (TEL) 03-5297-5151 (代表)
 定時株主総会開催予定日 2022年6月23日 配当支払開始予定日 2022年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	18,567	31.2	510	—	625	—	617	—
2021年3月期	14,153	△22.4	△1,904	—	△1,533	—	△2,454	—

(注) 包括利益 2022年3月期 655百万円(—%) 2021年3月期 △2,453百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	111.91	—	18.1	3.5	2.7
2021年3月期	△446.07	—	△52.6	△8.4	△13.5

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 一百万円 2021年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	18,196	3,404	18.7	617.46
2021年3月期	17,849	3,422	19.2	620.75

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,404百万円 2021年3月期 3,422百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,730	△316	△1,333	1,640
2021年3月期	△717	△369	1,298	1,533

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	38	—	0.8
2022年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00	77	12.5	2.3
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	21.00	21.00		18.0	

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	19,676	6.0	695	36.3	681	9.0	641	4.0	116.39

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料P13「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	5,516,335株	2021年3月期	5,516,335株
② 期末自己株式数	2022年3月期	2,678株	2021年3月期	2,647株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	5,513,673株	2021年3月期	5,502,158株

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	17,379	33.6	522	—	637	—	631	—
2021年3月期	13,012	△23.8	△1,875	—	△1,508	—	△2,440	—
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2022年3月期	114.55		—					
2021年3月期	△443.48		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	18,948	3,680	19.4	667.51
2021年3月期	18,580	3,724	20.0	675.53

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,680百万円 2021年3月期 3,724百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

2022年5月下旬に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(会計方針の変更)	13
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2021年4月1日～2022年3月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスによる感染症の再拡大により、一部の地域において、度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用を受け、飲食店や大規模商業施設などの営業が制限されるなど、経済活動の抑制により、国内の経済環境は厳しい状況で推移いたしました。緊急事態宣言解除後は消費も回復の兆しをみせましたが、その後もまん延防止等重点措置の適用があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

(和装事業)

和装事業におきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を実施しての店舗運営や教室運営、新たな取組として、きものコンテスト「Universal Kimono Award 2021」を開催するなど、コロナ禍でのお客様獲得に努めてまいりました。前期に比べ新型コロナウイルスによる影響が緩和、積極的な催事開催により、プライベートブランド商品等の受注が堅調に推移したことなどにより、当連結会計年度の和装事業の売上高は14,356,695千円(前期比22.7%増)、セグメント利益は1,055,645千円となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残高は、4,846,678千円(前連結会計年度末比26.1%増)となっております。

(ウエディング事業)

ウエディング事業におきましては、新型コロナウイルス感染予防対策を実施しての式場運営、新郎新婦様、ゲストの皆様にご安心いただけるよう、結婚式に携わる従業員全員に月2回の抗原検査を実施するなど、安心・安全な結婚式の提供に努めてまいりました。度重なる緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用により、受注・施行に影響を受けたものの、施行組数は回復傾向にあり、当連結会計年度のウエディング事業の売上高は4,210,718千円(前期比71.5%増)、セグメント利益は149,173千円となりました。

なお、当連結会計年度末の受注残組数は、1,345組(前連結会計年度末比2.0%減)となっております。

(全社)

上記の結果、当連結会計年度の業績は、売上高18,567,414千円(前期比31.2%増)、営業利益510,060千円、経常利益625,215千円、親会社株主に帰属する当期純利益617,047千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当連結会計年度末における総資産は18,196,352千円(前連結会計年度末比1.9%増)となりました。

流動資産の残高は9,987,075千円(前連結会計年度末比3.7%増)となりました。これは主に現金及び預金が307,409千円、仕掛品が128,392千円増加したことによります。

固定資産の残高は8,209,277千円(前連結会計年度末比0.1%減)となりました。

(負債の部)

当連結会計年度末における負債は14,791,875千円(前連結会計年度末比2.5%増)となりました。

流動負債の残高は12,731,068千円(前連結会計年度末比5.3%増)となりました。これは主に前受金が1,192,037千円、未払金が98,766千円、その他が271,441千円増加した一方で、短期借入金1,010,000千円減少したことによります。

固定負債の残高は2,060,807千円(前連結会計年度末比11.9%減)となりました。これは主に長期借入金290,656千円減少した一方で、退職給付に係る負債が40,240千円増加したことによります。

(純資産の部)

当連結会計年度末における純資産は3,404,476千円(前連結会計年度末比0.5%減)となりました。これは主に「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴い、当連結会計年度の期首で利益剰余金が634,640千円減少したこと、配当金38,595千円を支払ったこと、親会社株主に帰属する当期純利益617,047千円を計上したことによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は1,640,291千円となりました。
当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は1,730,629千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益513,853千円、減価償却費504,587千円、未払消費税等の増加288,104千円、前受金の増加381,657千円があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は316,821千円となりました。これは主に定期預金の預入による支出315,173千円、固定資産の取得による支出254,347千円があった一方で、有価証券の償還による収入200,000千円があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,333,509千円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出1,010,000千円、長期借入金の返済による支出468,984千円があった一方で、長期借入れによる収入200,000千円があったことによります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナをめぐる国際情勢の先行きやエネルギー・素材価格、為替の変動等による経済への影響が懸念され、先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況の下、当社におきましては、お客様・従業員の安心・安全を最優先として、徹底した感染予防対策を実施しての店舗運営・式場運営を行うとともに、和装事業では、プライベートブランド商品の更なる強化、きもの着方教室「いち溜」の強化、加盟店の開拓強化等、ウエディング事業では、「ユニティウエディング」、近隣神社との提携、中国ウエディング事業等を着実に推進してまいります。

通期の業績予想といたしましては、売上高19,676百万円、営業利益695百万円、経常利益681百万円、親会社株主に帰属する当期純利益641百万円を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。なお、国際会計基準（I F R S）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,369,143	4,676,553
売掛金	932,497	997,300
有価証券	202,052	—
商品	1,957,716	1,929,705
レンタル商品	1,230,034	1,321,078
仕掛品	402,368	530,760
原材料及び貯蔵品	109,419	93,382
その他	427,535	438,294
流動資産合計	9,630,766	9,987,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,915,141	4,738,966
土地	1,336,979	1,320,750
建設仮勘定	241,538	383,793
その他（純額）	292,400	220,990
有形固定資産合計	6,786,060	6,664,501
無形固定資産		
ソフトウェア	59,934	36,394
のれん	6,194	—
その他	77,002	52,966
無形固定資産合計	143,131	89,361
投資その他の資産		
投資有価証券	59,728	58,566
出資金	10	10
敷金及び保証金	1,204,802	1,278,143
繰延税金資産	—	92,887
その他	24,955	25,808
投資その他の資産合計	1,289,496	1,455,415
固定資産合計	8,218,688	8,209,277
資産合計	17,849,455	18,196,352

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	775,968	845,449
短期借入金	5,200,000	4,190,000
1年内返済予定の長期借入金	430,092	451,764
未払金	375,992	474,759
未払費用	311,182	316,469
未払法人税等	26,284	41,075
前受金	4,828,288	6,020,325
預り金	34,741	44,659
賞与引当金	2,040	1,650
ポイント引当金	30,617	—
その他	73,473	344,914
流動負債合計	12,088,681	12,731,068
固定負債		
長期借入金	1,059,585	768,929
資産除去債務	329,558	345,978
繰延税金負債	53,109	1,015
退職給付に係る負債	548,490	588,731
役員退職慰労引当金	14,740	15,607
その他	332,681	340,545
固定負債合計	2,338,165	2,060,807
負債合計	14,426,847	14,791,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,019,617	50,000
資本剰余金	1,008,916	1,978,533
利益剰余金	1,426,693	1,370,505
自己株式	—	△17
株主資本合計	3,455,226	3,399,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,095	33,506
為替換算調整勘定	△68,713	△28,049
その他の包括利益累計額合計	△32,618	5,456
純資産合計	3,422,608	3,404,476
負債純資産合計	17,849,455	18,196,352

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	14,153,646	18,567,414
売上原価	5,918,855	7,153,253
売上総利益	8,234,790	11,414,160
販売費及び一般管理費	10,139,430	10,904,100
営業利益又は営業損失(△)	△1,904,639	510,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,791	12,553
受取手数料	7,008	5,152
為替差益	46,935	72,036
助成金収入	311,039	58,486
その他	24,502	13,644
営業外収益合計	399,278	161,873
営業外費用		
支払利息	23,340	21,683
和解金	—	17,500
その他	5,125	7,535
営業外費用合計	28,466	46,718
経常利益又は経常損失(△)	△1,533,827	625,215
特別損失		
固定資産除却損	4,682	3,620
減損損失	437,962	107,741
債務保証損失	8,048	—
特別損失合計	450,693	111,362
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,984,520	513,853
法人税、住民税及び事業税	51,284	41,161
法人税等調整額	418,533	△144,355
法人税等合計	469,817	△103,194
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,454,338	617,047
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△2,454,338	617,047

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,454,338	617,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,555	△2,589
為替換算調整勘定	△34,431	40,663
その他の包括利益合計	1,123	38,074
包括利益	△2,453,215	655,122
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△2,453,215	655,122
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,019,152	1,008,451	3,958,189	△38,443	5,947,350
当期変動額					
新株の発行	464	464			929
剰余金の配当			△77,158		△77,158
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△2,454,338		△2,454,338
自己株式の処分				38,443	38,443
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	464	464	△2,531,496	38,443	△2,492,123
当期末残高	1,019,617	1,008,916	1,426,693	—	3,455,226

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	539	△34,281	△33,741	5,913,608
当期変動額				
新株の発行				929
剰余金の配当				△77,158
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△2,454,338
自己株式の処分				38,443
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	35,555	△34,431	1,123	1,123
当期変動額合計	35,555	△34,431	1,123	△2,491,000
当期末残高	36,095	△68,713	△32,618	3,422,608

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,019,617	1,008,916	1,426,693	—	3,455,226
会計方針の変更による累積的影響額			△634,640		△634,640
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,019,617	1,008,916	792,053	—	2,820,586
当期変動額					
減資	△969,617	969,617			—
剰余金の配当			△38,595		△38,595
親会社株主に帰属する当期純利益			617,047		617,047
自己株式の取得				△17	△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△969,617	969,617	578,451	△17	578,434
当期末残高	50,000	1,978,533	1,370,505	△17	3,399,020

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	36,095	△68,713	△32,618	3,422,608
会計方針の変更による累積的影響額				△634,640
会計方針の変更を反映した当期首残高	36,095	△68,713	△32,618	2,787,968
当期変動額				
減資				—
剰余金の配当				△38,595
親会社株主に帰属する当期純利益				617,047
自己株式の取得				△17
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,589	40,663	38,074	38,074
当期変動額合計	△2,589	40,663	38,074	616,508
当期末残高	33,506	△28,049	5,456	3,404,476

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,984,520	513,853
減価償却費	562,265	504,587
減損損失	437,962	107,741
レンタル商品の償却	460,247	428,763
のれん償却額	24,778	6,194
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	39,664	40,240
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	867	867
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,590	△390
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,794	△30,311
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△51,767	—
受取利息及び受取配当金	△9,791	△12,553
助成金収入	△311,039	△58,486
支払利息	23,340	21,683
為替差損益(△は益)	△46,935	△72,036
商品評価損	173,085	209,894
商品減耗損	3,481	2,725
商品廃棄損	3,431	12,141
固定資産除却損	4,682	3,620
和解金	—	17,500
売上債権の増減額(△は増加)	△289,927	△64,803
棚卸資産の増減額(△は増加)	△424,629	△711,874
仕入債務の増減額(△は減少)	46,817	79,899
未払消費税等の増減額(△は減少)	△94,512	288,104
前受金の増減額(△は減少)	639,405	381,657
その他	△26,105	△39,703
小計	△816,994	1,629,314
利息及び配当金の受取額	9,505	13,562
助成金の受取額	287,056	73,953
利息の支払額	△23,853	△21,472
和解金の支払額	—	△17,500
法人税等の支払額	△173,551	—
法人税等の還付額	—	52,771
営業活動によるキャッシュ・フロー	△717,838	1,730,629

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△277,606	△315,173
定期預金の払戻による収入	154,000	114,708
固定資産の取得による支出	△299,325	△254,347
固定資産の売却による収入	25,000	—
貸付金の回収による収入	3,861	3,987
有価証券の償還による収入	—	200,000
その他	24,316	△65,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△369,753	△316,821
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,790,000	—
短期借入金の返済による支出	—	△1,010,000
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△430,092	△468,984
リース債務の返済による支出	△22,832	△15,911
自己株式の処分による収入	38,443	—
自己株式の取得による支出	—	△17
配当金の支払額	△77,158	△38,595
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,298,360	△1,333,509
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,424	26,645
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	227,193	106,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,306,152	1,533,346
現金及び現金同等物の期末残高	1,533,346	1,640,291

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

すべての子会社を連結しております。

連結子会社の数

2社

連結子会社の名称

株式会社京都きもの学院

璨臻(上海)婚慶礼儀服務有限公司(英訳名: CANZHEN (SHANGHAI) WEDDING SERVICES CO., LTD.)

株式会社ChouChouにつきましては、2021年4月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、株式会社ChouChouを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行っております。

2. 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち、璨臻(上海)婚慶礼儀服務有限公司(英訳名: CANZHEN (SHANGHAI) WEDDING SERVICES CO., LTD.)の決算日は12月31日であります。

連結財務諸表の作成にあたっては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、和装事業の加工販売、和装事業及びウェディング事業の写真販売について、従来は、成果の確実性が認められる場合には、販売基準によっておりましたが、財又はサービスに対する支配が顧客に一定の期間にわたり移転する場合には、財又はサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。履行義務の充足に係る進捗度の測定は、各報告期間の期末日までに発生した原価が、予想される原価の合計に占める割合に基づいて行っております。また、和装事業のポイント制度について、従来は、将来にポイントとの交換に要すると見込まれる費用を引当金として計上する方法によっておりましたが、当該ポイントが重要な権利を顧客に提供する場合、履行義務として識別し、収益の計上を繰り延べる方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は90,050千円減少し、売上原価は20,648千円増加し、販売費及び一般管理費は15,580千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ95,118千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は634,640千円減少しております。

1株当たり情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「ポイント引当金」は、当連結会計年度より「その他」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。これによる影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、運営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、事業別のセグメントから構成されており、提供する商品、サービス等を考慮した上で集約し、「和装事業」「ウエディング事業」の2つを報告セグメントとしております。

「和装事業」は、呉服等の販売、振袖等の販売・レンタル、成人式の前撮り写真撮影サービス、成人式当日の着付け及びメイクサービス、きものの着方教室の運営等を行っております。

「ウエディング事業」は、結婚式場「キャメロットヒルズ」(埼玉県さいたま市北区)、「グラストニア」(愛知県名古屋市中区)、「百花籠」(愛知県名古屋市中区)、「ネオス・ミラベル」(山梨県笛吹市)、嘉美麗徳高端婚礼会館(英訳名:Camelot-Hills Shanghai)(上海市静安区)等の運営を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントごとの利益又は損失は、営業利益又は営業損失ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

(会計方針の変更)に記載のとおり、当連結会計年度より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方針に比べて、当連結会計年度の「和装事業」の売上高は112,580千円減少、セグメント利益は105,242千円減少し、「ウエディング事業」の売上高は、22,530千円増加、セグメント利益は10,124千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	和装事業	ウエディング事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,698,093	2,455,553	14,153,646	—	14,153,646
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,698,093	2,455,553	14,153,646	—	14,153,646
セグメント損失(△)	△66,785	△1,089,269	△1,156,055	△748,584	△1,904,639
セグメント資産	6,278,211	6,832,415	13,110,626	4,738,828	17,849,455
その他の項目					
減価償却費	124,174	404,119	528,293	33,971	562,265
レンタル商品の償却	419,041	41,206	460,247	—	460,247
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	57,138	126,732	183,871	12,497	196,368

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。

(3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。

(4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。

2. セグメント損失(△)は連結損益計算書の営業損失と調整しております。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注) 1	連結財務諸表 計上額(注) 2
	和装事業	ウエディング 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,356,695	4,210,718	18,567,414	—	18,567,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,356,695	4,210,718	18,567,414	—	18,567,414
セグメント利益	1,055,645	149,173	1,204,818	△694,758	510,060
セグメント資産	6,499,088	6,850,675	13,349,764	4,846,588	18,196,352
その他の項目					
減価償却費	114,039	365,133	479,172	25,415	504,587
レンタル商品の償却	401,592	27,171	428,763	—	428,763
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	139,893	160,539	300,433	55,051	355,485

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額は、全社費用であり本社管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、本社管理部門の資産であります。
 - (3) その他の項目(減価償却費)の調整額は、本社管理部門の減価償却費であります。
 - (4) その他の項目(有形固定資産及び無形固定資産の増加額)の調整額は、本社管理部門の増加額であります。
2. セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	6,153,227	1,437,339	2,455,553	1,212,774	2,390,885	503,866	14,153,646

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。

2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	販売売上	レンタル売上	ウエディング 売上	加工売上 (注)1	写真売上	その他 (注)2	合計
外部顧客への売上高	7,759,299	1,849,389	4,210,718	1,385,611	2,768,970	593,424	18,567,414

(注) 1. 「加工売上」には、販売売上及びレンタル売上等に係る仕立て加工に関する売上を計上しております。

2. 「その他」には、きもの着方教室の受講料等を計上しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	中国	合計
5,899,887	764,613	6,664,501

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	連結財務諸表計上額
減損損失	59,986	377,975	437,962

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	その他(注)	連結財務諸表計上額
減損損失	12,344	—	95,397	107,741

(注) 「その他」の金額は、本社管理部門に係るものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	連結財務諸表計上額
当期償却額	24,778	—	24,778
当期末残高	6,194	—	6,194

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	和装事業	ウエディング事業	連結財務諸表計上額
当期償却額	6,194	—	6,194
当期末残高	—	—	—

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	620.75円	617.46円
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	△446.07円	111.91円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. (会計方針の変更)に記載のとおり、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。この結果、当連結会計年度の1株当たり純資産額は126.44円減少し、1株当たり当期純利益は11.34円減少しております。
3. 「普通株式の期中平均株式数」は、一蔵従業員持株会専用信託が所有していた当社株式を控除しております。
- 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上、控除した当該株式の期中平均株式数
前連結会計年度 10,796株 当連結会計年度 一株

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,422,608	3,404,476
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,422,608	3,404,476
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	5,513,688	5,513,657

5. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属 する当期純損失(△)(千円)	△2,454,338	617,047
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△2,454,338	617,047
普通株式の期中平均株式数(株)	5,502,158	5,513,673

(重要な後発事象)

該当事項はありません。